

本選出場の皆様、この度は誠にありがとうございます！今年のコンクール挑戦はいかがだったでしょうか？会場で聴かせていただいた第一の感想としましては、全部門の皆さんの演奏に、響きのバランス、会場の音響に意識が高まった演奏が以前より明らかに増えてきている印象でした。これは長年山形少年少女ピアノコンクールが開催されてきた大きな成果の表れだと感じます。その上で気をついた点を申し上げるとするならば、綺麗な響きを作ろうとするあまりに、音にならずに空中を弾いてしまうような動作だけで終わってしまう場面も見受けられました。感情や音の雰囲気は動作から入ることは決して悪いことではないのですが、実際の音に結びつかないと表現が聴いている人に伝わりません。動作をした自己満足で終わってしまうのは勿体無いので、耳を使って実際に自分がどういう音を出しているのかというところに興味を持って、自分の出すちょっとした音の変化に意識が向いてくると、より良い音にするための工夫というのが自分の中で広がってくるのではないかと思います。指を素早く動かしたりミスをしないで弾くことも大事なことの一つではありますが、最後はやっぱり音です。良い音、聴いていて一音で打ちのめされるような体験ができたなら聴いていてこんな幸せなことはありません。どうぞ来年は審査員を音で打ちのめしてください！ではまた機会があればお会いしましょう。みなさんお元気で！